

海外研修事業における、
姉妹校や各種国際関係機関・
企業との連携のありかた

忠光 時習館

北原忠光 揮毫

平成29年6月16日

時習館SGH事業の概要

日本の未来を創造的に描くことのできるグローバルリーダーの育成

課題研究・英語授業・発展学習・海外学習（海外研修）

日本の未来を描く
(第3学年グローバルコース)

SG グローバル社会探究

SGH 発展学習

世界の中の日本を知る
(第2学年グローバルコース)

SG 国際探究 SS&SG ESP II

SG 日本文化探究 II

日英独国際シンポジウム

海外研修

アジアの中の日本を知る
(第1学年)

SG アジア探究 SS&SG LTC

SS&SG ESP I SGカルチャー

SG 日本文化探究 I 海外研修

SGH特別講演会

姉妹校等との連携

- [英国] セントポールズ校、セントポールズ女子校
- [ドイツ] オッター・フォン・タウベ・ギムナジウム
- [マレーシア] ジン・シン校、チュンリン・バターワース校、
チュンリン・ペナン校
- [ロシア] ギムナー ज्या92

海外の大学・国際関係機関・企業との連携

- ロンドン大学、セインズベリー日本藝術研究所
- アウグスブルク大学、オックスフォード大学、UCL
- 在ミュンヘン日本国総領事館、在ペナン日本国総領事館
- BBC放送局、MAN社、BEBASTO社、パナソニック

国内の大学留学生との連携

- 愛知大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学

姉妹校提携

○平成22年度

セント・ポールズ校
(創立507年目)

○平成23年度

セント・ポールズ女子校
(創立112年目)

○平成24年度

オットー・フォン・
タウベ・ギムナジウム
(創立49年目)



課題研究授業『SGアジア探究』

【アジアの中の日本を知る】(第1学年:2学期)

- 「アジアの中の日本」という観点での助言
(大学留学生と)
- 「課題研究」内容についての指導
(外部講師ALTと)

当日の分科会では、この頁から23頁にわたって写真を用いたスライドで説明しましたが、ここでは写真を除き、項目ごとにまとめてあります。

課題研究『SG国際探究』

【世界の中のアジア・日本を知る】

（第2学年グローバルコース：1年間）

- 「日英独高校生による国際シンポジウム」
（姉妹校生徒来校と 10月中旬）
- 「課題研究」内容を深めるための交流
（独：グスタフ・ハイネマン高校生徒と 10月中旬）

英語授業 (English for Social Purposes II)

(第2学年:1年間)

- 「イングリッシュアセンブリー I」
(韓国:東国大学附属女子高生徒と 5月下旬)

海外学習(国内研修)

- 「日英独3ヶ国の文化の違いについての理解」
(姉妹校生徒来校 10月中旬)
- 「イングリッシュアセンブリーⅡ(ポスター発表)」
(大学・大学院留学生と 12月中旬)
- 「イングリッシュアセンブリーⅡ(ポスター発表
後の意見交換)」
(大学・大学院留学生と 12月中旬)

海外研修〔英国〕（3月上旬）

- 「課題研究発表」（姉妹校セントポールズ校にて）
- 「研修・ワークショップ」（セインズベリー日本藝術研究所にて）
- 「オックスフォード大学訪問」
- 「放送体験のワークショップ」（英国BBC放送局にて）

海外研修[ドイツ] (3月上旬)

- 「課題研究発表」(姉妹校OvTGにて)
- 「本校生徒による日本文化紹介授業」(姉妹校OvTGにて)
- 「日独露高校生による意見交換会」(姉妹校OvTGにて)
- 「ドイツ・アウグスブルク大学訪問」
- 「在ミュンヘン日本総領事館訪問研修」

海外研修[マレーシア] (1月中旬)

- 「課題研究発表」(ジン・シン校にて)
- 「日本文化紹介」(チュンリン・バターワース校にて)
- 「マレーシア文化紹介」(チュンリン・バターワース校にて)
- 「国際企業パナソニック訪問研修」
- 「在ペナン日本国総領事館訪問研修」

部活動(SGH外国語部)

- ロシア・ギムナージヤ92生徒とのビデオカンファレンス)(2月中旬)

はんでん木並木から世界へ、
そして未来へ...



日時：6月16日（金）第1グループ 15時20分～16時30分

於：筑波大学東京キャンパス 1階116講義室

1 時習館S G H事業の概要について

・研究開発名

「日英独高校生の国際シンポジウム等によるグローバル・リーダーの育成」

・課題研究テーマの5つの柱

①共生社会と教育 ②歴史と文化 ③経済発展と環境

④国際政治・外交 ⑤日本の貢献・国際理解

・それを支える部分 ー カリキュラム、発展学習、海外学習

→ これを実現するための連携

A 姉妹校等との連携

B 海外の大学・国際関係機関、企業との連携

C 国内の大学留学生との連携

2 英・独3つの姉妹校について

・提携までの流れ

平成21年度 卒業50周年事業でのプレゼントとして、英国セント・ポールズ校との交換留学

その後も交流が続き、22年度に同校（日本での私立男子校に相当）と姉妹校提携

23年度に女子校であるセント・ポールズ女子高と姉妹校提携

24年度には、セント・ポールズ校のドイツにおける姉妹校である

オッター・フォン・タウベ・ギムナジウムと姉妹校提携

3 連携の状況について

（1）課題研究授業での連携

・S Gアジア探究（1年生） ー 近隣大学の留学生による指導

・S G国際探究（2年生） ー 近隣大学の留学生による指導

姉妹校生徒（英・独）と国際シンポジウムを実施

グスタフ・ハイネマン高校（独）生徒とのディスカッション

（2）英語授業での連携

・E S P II（2年生、学校設定科目）

SG English Assembly I ー 韓国・東国大学附属女子高校からの生徒とのディスカッション

(3) 「SGH海外学習」国内事前研修での連携

- ・英独姉妹校生徒とのディスカッション
- ・近隣大学留学生による課題研究指導

(4) 「SGH海外学習」英国研修での連携

- ・姉妹校での課題研究発表
- ・研究機関（セインズベリー日本藝術研究所、オックスフォード大学）
- ・企業、施設（BBC、オリンピック関連施設）

(5) 「SGH海外学習」ドイツ研修での連携

- ・姉妹校での課題研究発表、日本文化を通じた交流等（姉妹校の授業の一環として）
- ・研究機関（アウグスブルク大学）
- ・企業、施設（ヴェバスト社、マン社、在ミュンヘン日本国総領事館）

(6) 「SGH海外学習」マレーシア研修での連携

- ・連携校3校での課題研究発表、日本文化を通じた交流
- ・企業、施設（パナソニック、在ペナン日本国総領事館）

4 部活動での連携についての説明および報告

- ・ロシアの連携校 ギムナージヤ92
 - － ドイツ姉妹校でのディスカッションおよび本校でのスカイプセッション

5 本校の課題（海外研修における連携について）の説明

- ・連携先の選定方法について
 - 何を基準にして選ぶべきか。生徒にとってよりよい提携先とは。
- ・連携先の確保方法について
 - つながりが持っていない状況では、どのように確保していけばよいのか。
- ・連携のしかたについて
 - 日本の高校生受け入れた経験がない機関であっても、連携しやすい実施方法とは。
- ・連携の効果の検証方法について
 - 連携先から得る報告を、有効な検証データとして活用するための方法とは。

6 質疑応答

7 フリーディスカッション

議題「海外機関との望ましい連携のありかたとは？」

3～4名のグループに分かれ、自由に討議。その後、報告